

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1/35	災害時の協力体制はもちろん重要であるが、近隣も高齢者が多くなっているので事業所の自助努力とともに地域への共助も必要である。	近隣住民や近隣の独居高齢者と日頃の関わりをより深めることで、お互いに信頼し合えて、気軽に声を掛け合える関係を構築する。	・近隣住民や独居高齢者への声かけ、事業所の広報活動(季刊誌の配布、なごみカフェ等)強化 ・事業所の有する資源を還元していく取り組み(認知症相談やサポーター養成講座、認知症ケアの研修等)を行う。⇒これまでも行ってきたが継続して実施していく。	12～24ヶ月
2	33	現時点ではターミナル対象のご入居者はおられないので、切迫感やその意識が低い。	ターミナルケアに向けた方針を整備していく。	・ターミナルケアに向けた勉強会の開催 専門職としてどのような知識や技術が必要でどのように支援していくのか理解とともに学びを深める。 ・外部研修への参加	12～24ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。